



越前市議会だより

8月臨時会

副議長、監査委員決まる

副議長に 三田村輝士氏
監査委員に 佐々木富基氏
を選出

副議長



み た む ら て る し
三田村輝士

期数3期/60歳
議会運営委員長などを歴任
(会派：市民ネットワーク)

監査委員
(議会選出)



さ さ き と み き
佐々木富基

期数4期/59歳
議長などを歴任
(会派：市民ネットワーク)

8月臨時会の概要

平成28年第4回越前市議会臨時会は、8月1日と2日に開かれ、副議長の辞職に伴い選挙を行いました。また、委員会の所属、議会選出の監査委員などを決めました。このほか、越前市生涯学習センターほか解体工事の請負契約案を可決、専決承認案1件を承認しました。

【関連③・⑥面】

6月定例会

新庁舎建設基本設計(案)を基に、活発な質問が飛び交う

6月定例会では、新庁舎建設基本設計(案)の公表を受け、4議員が新庁舎に関連する一般質問を行いました。

本庁舎の耐震性能に関する質問では、直近の断層帯や地盤の特性を考慮し制震構造で設計を行うことや、木材を活用すべきという意見に対して、内装材等に木材を用いて、温かみのある建物になるよう検討するとの説明がありました。また、本庁舎前広場を防災の視

活発な質問が飛び交う

点から活用することに関しての質問に対して、理事者からは、一時的な避難所としての活用を計画しているが、熊本地震で明らかになつた課題への対応策として、給排水・電気設備等の整備やマンホールトイレの増設等も計画しているとの答弁がありました。

その他、市民が利用する多目的ホールなどのスペースと、市役所業務を行うスペースがつかないかという意見などがありました。



本庁舎イメージ図



今立総合支所イメージ図

本号の主な内容

- 2面 ◆ 6月定例会 予算審議・委員長報告
- 3面 ◆ 8月臨時会 議会人事決まる
- 4~5面 ◆ 14議員が市政をただす (一般質問)
- 6面 ◆ 議会改革に取り組む

6月定例会の概要

平成28年第3回越前市議会定例会は6月10日から6月30日までの21日間にわたって開かれました。

この定例会では、本年度一般会計補正予算案1件(3億494万円)、越前市今立ふれあいプラザ設置及び管理条例の廃止についての条例案など5件、専決承認案6件を、いずれも可決・承認しました。

このほか請願2件を継続審査としました。

【関連②・④・⑥面】



6月補正予算

一般会計 3億494万円の追加補正 (補正後総額 362億2,034万円)

- コミュニティ活動用の備品等に対する助成
- 本庁舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査委託費
- 新規就農者経営支援就農奨励金 外

議案審議



予算審議

大玉トマト「紅しきぶ」の生産拡大を図る

園芸振興対策事業補助金

1億2千6百万円

問 トマトを栽培するための大規模な高性能ハウスの整備を対象に補助を行うとのことだが、補助金の支出先はどこか。また、人員確保等の課題についてどう対処するのか。

答 事業主体はJA越前たけふであり、市内の農業法人等の担い手に施設を賃貸して栽培管理や収穫などハウスの管理運営をする。周年栽培が可能なることから、経営開始後おおむね5年後までに雇用者を3人以上増やすことが補助要件となっている。



「紅しきぶ」の名前は、トマトの鮮やかな色彩「紅」と越前市にゆかりのある「紫式部」が由来

野立て看板等の撤去・改修費用を補助

屋外広告物景観改善支援事業補助金 200万円

問 福井県屋外広告物条例の改正により、北陸新幹線沿線等における看板設置の規制が強化されたが、新たな基準に適合しなくなった看板は、市内に何件あるのか。また、撤去に応じない事業者に対してはどのような指導をするのか。

答 県の調査によれば、新たな基準に適合しなくなった看板は市内に55件あり、この補助事業は、そのような看板の撤去・改修費用の一部を県と連携して支援するものである。経過措置が設けられており、平成34年10月までに撤去・改修が必要となるが、期限までに撤去等が行われない場合は、口頭指導や文書による是正指導を行う。

常任委員会委員長報告

教育厚生委員会

感染症予防事業について、委員からは、B型肝炎ワクチンについて、平成28年4月1日以降に生まれた子供を対象に定期接種を開始することだが、これに関する周知方法や、案内を出しても接種に来られない方や入院などで受けられない方への対応はどうするのか、とただされました。

理事者からは、市のホームページや広報紙でお知らせするとともに、乳児訪問の際にご案内をする。それでも来られない方に対しては電話で直接接種を促し、さらには健診やセミナーなどの機会での呼びかけ、医療機関との連携等を通して周知を図っていく、また、長期にわたり療養を必要とする疾病にかかった場合は特例措置により定期接種として受けることができるとの答弁がなされました。

また、小中学生を対象とした学習活動推進事業の内容について、理事者から、この事業は、児童生徒の発信力向上のための取組みとして、地域の課題を主体的に考え、改善に向けて自らが企画提案する体験活動を支援するものであり、県から3年間に限り交付される補助金を活用するとの説明がありました。

これに対し、委員からは、県からの補助金がなくなった後における、当市の方針についてただされました。理事者からは、補助金がなくなった後については、別の事業でこの学習活動を補うことや、児童生徒が活動の中で習得した力を発揮できる別の場を設けるなど、市の教育施策の中で検討していきたいとの答弁がなされました。

産業建設委員会

屋外広告物景観改善支援事業補助金について、理事者から、この補助制度は、県が本年3月に、福井国体の開催や北陸新幹線の開業を見据え、魅力ある景観を創出し、美しい田園や里地里山の原風景を保全するため、福井県屋外広告物条例を改正し規制を強化した

ことに伴い、良好な景観づくりが早期に進むよう、期間を限定して、新たな基準に適合しなくなった広告物の撤去、改修費用の一部を支援する補助事業であり、県が市町と連携して行う制度であるとの説明がありました。

これに対し、委員からは、既に講習会が開催されているようだが、関心を高めるため、また、補助制度を周知するため、さらにきめ細やかな説明会を開催し、周知徹底を図るべきではないかとただされました。理事者からは、制度の周知を図ることは大変重要であり、今後も引き続き県と連携して説明会等を行い、制度の周知に努めたいとの答弁がなされました。

総務委員会

コミュニティ助成事業に関し、委員からは、合併してからの市内各地区の申請及び採択状況についてただされました。

理事者からは、平成18年度から27年度までの10年間で、市内全ての地区で申請があり、採択、助成されているとの答弁がなされました。他の委員からは、コミュニティ助成事業の申請期限についてただされました。

理事者からは、コミュニティ助成事業については、毎年9月ごろに各自治振興会に希望を照会させていただき、市で取りまとめを行い、全て県へ申請している、との答弁がなされました。

また、本庁舎建設事業に関し、委員からは、発掘調査のスケジュールと本庁舎駐車場の安全対策についてただされました。

理事者からは、発掘調査のスケジュールについて、まず、本庁舎駐車場については、本年8月から着手するが、駐車スペース確保のため2つの区域に分けて行い、立体駐車場の完成する10月からは庁舎建設位置全体の発掘調査を行う。次に、生涯学習センター・市民ホール跡地については、引き続き庁舎建設部分の発掘調査を行い、平成29年8月には現場調査を完了したいと考えている。また、本庁舎駐車場の安全対策について、利用者の方には、出来るだけ

ご迷惑のかからないよう、また、安全面には万全を期していきたい、との答弁がなされました。さらに、委員からは、発掘調査における市民説明会のスケジュールについてただされました。

理事者からは、本庁舎駐車場は2層の発掘調査を行う。市民説明会は、1層目の発掘が終わった時点で1回、2層目の発掘が終わった時点で1回、生涯学習センター・市民ホール跡地の発掘が終わった時点で1回、の3回程度の開催を考えている、との答弁がなされました。

2年間の調査研究を総括

特別委員会委員長報告

特別委員会とは、特定の事項を調査するために設置する委員会です。越前市議会は、平成26年7月に3つの特別委員会を設置し調査研究を行ってきましたが、6月定例会では2年間の総括する報告がありました。

議会活性化特別委員会では、越前市議会基本条例の改定や、市民と議会との語る会における一層活発な意見交換の実現などを図っていくべきだとの意見があり、今後、議会運営委員会を中心として調査を行っていくべきであるとの報告がありました。

原子力防災等・再生可能エネルギー対策特別委員会では、地域防災計画をさらに実効性の高いものに見直すことや、再生可能エネルギー利用の推進、新庁舎への活用を求める意見がありました。

北陸新幹線・新庁舎建設対策特別委員会では、これまでの調査研究を踏まえ、今後も議会全体で課題を共有し、着実に協議を進めるべきであるとの報告がありました。

表彰

議員在職25年以上

- 全国市議会議長会
- 北信越市議会議長会

議員 前田 修治

8月臨時会

議会人事決まる

8月臨時会では、各委員会の所属、各組合議員の選出などを行い、市民福祉の向上を目指すため、引き続き城戸茂夫議長を中心とする「チーム越前市議会」の体制が整いました。

議会運営委員会

円滑な議会運営のための意見調整や、議長からの諮問事項の調査、議案等の審査をします。

- 委員長 川崎 悟司
- 副委員長 小玉 俊一
- 委員 佐々木 哲夫
- 委員 川崎 俊之
- 委員 小形 善信
- 委員 佐々木 富基
- 委員 前田 修治



常任委員会

市の事務に関する調査及び議案などを審査するため、越前市議会では、条例により3つの常任委員会が設けられています。

総務委員会

企画部、総務部、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

- 委員長 川崎 俊之
- 副委員長 吉田 啓三
- 委員 大久保 健一
- 委員 三田村 輝三
- 委員 中西 眞三
- 委員 西野 与五郎
- 委員 片粕 正二郎



教育厚生委員会

教育委員会、市民福祉部及び福祉事務所に関する事項

- 委員長 安立 里美
- 副委員長 清水 和明
- 委員 小玉 俊一
- 委員 佐々木 哲夫
- 委員 佐々木 富基
- 委員 福田 往世
- 委員 前田 修治



産業建設委員会

産業環境部、建設部及び農業委員会に関する事項

- 委員長 伊藤 康幸
- 副委員長 吉村 美則
- 委員 加藤 吉則
- 委員 霜 実男
- 委員 小形 善信
- 委員 川崎 悟司
- 委員 前田 修治



組合議会議員

南越消防組合議会議員

- 大久保 健一
- 吉村 美幸
- 川崎 悟司
- 西野 与五郎
- 前田 修治
- 清水 和明
- 吉田 啓三
- 中西 眞三
- 伊藤 康幸
- 城戸 茂夫

南越清掃組合議会議員

- 小玉 俊一
- 霜 実男
- 川崎 俊之
- 佐々木 富基
- 片粕 正二郎
- 加藤 吉則
- 安立 里美
- 小形 善信
- 福田 往世
- 城戸 茂夫

福井県丹南広域組合議会議員

- 大久保 健一
- 佐々木 哲夫
- 川崎 悟司
- 吉村 美幸
- 三田村 輝三
- 城戸 茂夫

公立丹南病院組合議会議員

- 清水 和明
- 安立 里美
- 城戸 茂夫
- 霜 実男
- 中西 眞三

越前三国競艇企業団議会議員

- 川崎 悟司
- 伊藤 康幸
- 片粕 正二郎
- 前田 修治
- 前田 一博

福井県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 安立 里美
- 城戸 茂夫

会派(8月1日現在)

市民ネットワーク

- 会長 佐々木富基
- 幹事長 小玉 俊一
- 庶務 霜 実男
- 吉村 美幸
- 吉田 啓三
- 三田村輝三

未来

- 会長 小形 善信
- 幹事長 佐々木哲夫
- 中西 眞三
- 伊藤 康幸
- 福田 往世

誠和会(自民・公明)

- 会長 川崎 俊之
- 幹事長 大久保健一
- 清水 和明
- 前田 一博

政新会

- 会長 川崎 悟司
- 会 計 安立 里美
- 城戸 茂夫

日本共産党議員団

- 団 長 前田 修治
- 加藤 吉則

諸派

- 片粕正二郎
- 西野与五郎

6月定例会 一般質問

6月定例会では、14人の議員が6月16日・17日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

防災

地域防災計画に熊本地震の教訓を生かせ

問 熊本地震の発生で、現状の地域防災計画に不十分な箇所があるのか。あるならどのように今後取り組んでいくのか。

答 5月24日に熊本地震対応検証会議を開き、今後の取り組みを短期、中期、長期に整理し、全庁的に課題解決に努め、必要があれば9月補正予算、平成29年度当初予算に反映させたい。今後も地域防災計画の必要な見直しを進め、さらなる地域防災力の強化を図っていく。

他の質問項目

- ・データから見る越前市の現状と今後
- ・多選に見る市長の姿勢と適当な判断



片粕正二郎

諸派

農村活性化

グリーンツーリズムの民間組織への積極的な支援を図れ

問 都市と農村の交流を通じ農村の活性化を図るため、市の施策の一つとして「グリーンツーリズム」があり、民間組織の「ロハス越前」が10年以上活動を担ってきた。市は必要性を再認識し、積極的な支援をお願いしたい。

答 今後も「ロハス越前」を支援し、グリーンツーリズムの振興を図れるよう、県とも連携し、受け入れ態勢や体験メニューの充実を図る。また、市観光協会とも連携し、情報発信や広報に努める。

他の質問項目

- ・新庁舎建設について



佐々木哲夫

未来

新庁舎と中心市街地活性化

新庁舎建設の際の地震対策を示せ

問 今回新庁舎の構造形式は免震構造を採用せず制震構造となっている。制震ダンパーによる制震構造とはどういうものか。また免震構造と制震構造の強度と費用の比較は。

答 制震構造とは建物の中にダンパーという振動を減らす装置を備えて地震のエネルギーを吸収し被害を抑える構造である。また、どちらの構造も一定の耐震性能を確保でき、免震構造よりもコスト面で優位性がある。

他の質問項目

- ・新庁舎並びに中心市街地活性化について
- ・地域包括ケアシステムについて



小玉 俊一

市民ネットワーク

中心市街地の活性化に対する市長の見解を示せ

問 平成28年度は過去最高の予算を編成し、「元氣な自立都市 越前」の創造を目指しているが、中心市街地の活性化に対する市長の見解は。

答 新庁舎の建設や武生中央公園の再整備などに着手し、河瀬線の整備等に取り組んでいる。人口減少時代にふさわしい「ネットワーク型コンパクトシティ」を目指し、第3期中心市街地活性化基本計画の国の認定を得て、民間と連携し着実に進めていきたい。

他の質問項目

- ・新庁舎の施設について



川崎 悟司

政新会

総務

越前市公益通報制度の条例化を図れ

問 越前市では内部・外部公益通報処理に関する要綱を平成20年に定めているが、現在まで通報はゼロである。透明性のある行政を実施するためにも条例化を図れ。

答 制定以来、通報を受けた実績はない。越前市では様々な指摘に対しその都度迅速な対応と丁寧な説明を職員は行っており、その中で違法性もしくは著しく不当な事案があれば顧問弁護士と協議適切に対応している。今後も要綱に沿って対応していきたい。

他の質問項目

- ・新庁舎と周辺は、「まちの顔」となるのか。
- ・シンボルロードとまちのにぎわい。



中西 眞三

未来

市役所における非正規雇用の状況は

問 ①市職員の正規・非正規数は。②今後の雇用計画は。③大規模災害等の教訓として職員配置数をどう考えるのか。

答 ①平成27年度で、正規職員数601人、非正規職員は延べ456人。②行財政構造改革プログラムの職員数に基づき採用に取り組んでいる。さまざまな雇用形態の最適な組み合わせを図り公共サービス向上に努める。③地域防災計画に基づき、現有職員で災害対応に従事する。訓練や研修等で適切な対応ができるよう努める。

他の質問項目

- ・マイナンバーカード申請・管理状況
- ・市の広報紙の充実化



加藤 吉則

日本共産党議員団

企業支援

中小・小規模事業者に対する施策の強化を図れ

問 市内中小・小規模事業者に対する施策の方向性を示せ。

答 市産業活性化プランでは、中小・小規模事業者への施策強化を掲げ、既存産業、企業の自立化と持続化を促進、支援する事業をこれまで以上に実施している。経営改善資金の利子補給の拡充、機械設備の更新等を新たに対象とした補助金の拡充などを実施している。また、人材確保のために、定着化セミナーの開催や情報発信を実施していく。

他の質問項目

- ・公共施設、インフラ設備の更新について
- ・社会保障費について



清水 和明

誠和会(自民・公明)

子育て支援企業へ行政の支援を行え

問 越前市には大手企業や中小企業が多くあるが、企業の子育て対策に対し行政は積極的に支援すべき。

答 国では、子育てサポート企業に対する税制優遇措置や、事業所内保育施設設置等への助成、子育て期における短時間勤務制度導入企業に対する助成制度などがある。越前市では、すくすくすまいる登録事業所に対し、事業所内に保育室の施設整備や運営を行う際の助成、市の工事の入札時の優遇措置がある。

他の質問項目

- ・市民バス「のろっさ」について
- ・越前市の男女共同参画事業について



吉村 美幸

市民ネットワーク



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

学校給食

環 境 ・ 福 祉

地場産野菜を学校給食で提供できないか

問 給食では生野菜は提供できないと聞いている。地場産野菜である紅しきぶ、白山スイカは、給食で食べることができないのか。
答 生で食べられる野菜についても、二次汚染防止の観点から原則として加熱調理を行っている。しかし、「紅しきぶ」に限っては、地場産給食メニューとして、生のままで提供したいと考えている。「白山スイカ」については出荷時期が夏休みなので、提供は難しい。

他の質問項目

- ・ 小学校の給食はどのような形でつくっているのか
- ・ コウノトリ野外定着に向けた餌場環境づくりについて



霜 実男

市民ネットワーク

障害者差別解消法の意義を市全体に普及させよ

問 「人間の尊厳」とは、人が人らしくあり、「人権」とは一人ひとりが尊いものであり、いかなる場合にも踏みにじったり、無視してはならないことであるが、新法に基づいた市の取り組みは、平等のためには、障がい者への「不当な差別的な取り扱いの解消」と「合理的な配慮の提供」が必要であり、市を含めた公的機関や民間企業に周知し、理解を求めていく。また、障害者差別解消支援地域協議会を設置して、差別解消の体制づくりを進める。

他の質問項目

- ・ 市内全域の市道の段差解消について
- ・ 街路樹や公園の植栽の管理について



小形 善信

未来

「子どもの貧困」解決に向けての市の考えを示せ

問 国民生活基礎調査では、全国では子どもの6人に1人が貧困であるとされている。「子どもの貧困」対策及びひとり親家庭への経済的支援について市長はどのように考えているのか。
答 子どもの将来が家庭の経済的状況や生まれ育った環境で大きく変わることがないよう、学習支援、生活支援、就労支援、経済的支援などの施策の推進が大切だと考えている。また、ひとり親家庭の支援については、国、県の重要要望の中に新たに項目を設けている。

他の質問項目

- ・ 職員研修のあり方について
- ・ 市の無料相談について



前田 修治

日本共産党議員団

ごみの減量や、高齢世帯のごみ問題に早急に対応せよ

問 ごみの排出量を減らすことは、直接行政コストの削減につながる。食べ残しなど「食品ロスの減量」への取り組みと、ごみ出しができない高齢世帯への対応はどうするのか。
答 県の調査では生ごみに含まれる食品ロスの割合は25%であるが、今後増加することも懸念される。「食べ切り運動」を進め、市民への啓発を図っていく。また、高齢者のごみ問題は、市民福祉部が進めている日常生活の支え合いの取り組みと連携していく。

他の質問項目

- ・ 職員研修のあり方について
- ・ 市の無料相談について



安立 里美

政新会

議会改革度調査

全国33位 県内トップに!

早稲田大学マニフェスト研究所が発表した「議会改革度調査ランキング 2015」において、越前市議会は 1,460 の全国の地方議会のうち 33 位、県内ではトップとなりました。

この調査は、「情報共有」「住民参加」「議会機能強化」の改革度合を数値化しランキングを出したものです。今後も引き続き市民と議会との語る会や議会モニター制度の運用を通して、議会機能の充実や開かれた議会の推進に努めます。【関連⑥面】



議員間で自由討議を行い、議会機能強化を図る

人 権

建設リサイクル

公共施設の解体における廃棄処分の方針を示せ

問 新庁舎、新体育館、今立総合支所建設に伴い、今後建物の解体が急増すると思われるが、これらの建設廃材はどのように処分されるのか。
答 建設リサイクル法、特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等に関する基本方針に則して適正な処理に取り組むよう指導している。また、建設資材廃棄物は再使用できるものと廃棄物として最終処分されるものに分別している。

他の質問項目

- ・ たくましく育つ子どもの環境（生活空間）づくり



西野与五郎

未来

人権尊重の取り組みを推進せよ

問 LGBT(性的マイノリティ)の方が安心して生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、市の広報紙やホームページ等を活用した市民への周知、市職員に対する講演会の開催、パンフレットでの普及などが必要ではないか。
答 全ての人が安心して生きがいを持って暮らせる社会を実現するため、国や県と連携しながら、市ホームページ、広報紙や講演会などを通じて正しい知識や情報を広く市民に啓発する。

他の質問項目

- ・ 多様な人たちの居場所の確保
- ・ 熊本地震を教訓とした地域防災力の強化



三田村輝士

市民ネットワーク

議案の議決結果

6月定例会(平成28年第3回越前市議会定例会)に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	審議結果
議案第32号	平成28年度越前市一般会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第33号	越前市議会議員及び越前市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について	可決(全員)
議案第34号	越前市地域自治振興条例の一部改正について	可決(全員)
議案第35号	越前市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
議案第36号	越前市公民館設置及び管理条例の一部改正について	可決(全員)
議案第37号	越前市今立ふれあいプラザ設置及び管理条例の廃止について	可決(全員)
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度越前市一般会計補正予算(第8号))	承認(全員)
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号))	承認(全員)
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度越前市一般会計補正予算(第1号))	承認(全員)
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて(越前市市税賦課徴収条例等の一部改正について)	承認(全員)
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(越前市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認(全員)
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(控訴の提起について)	承認(全員)
請願第1号	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	継続審査(全員)
請願第2号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	継続審査(全員)

8月臨時会(平成28年第4回越前市議会臨時会)に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	審議結果
議案第44号	工事の請負契約について	可決(全員)
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について)	可決(全員)
議案第46号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意(全員)

(注)議長は採決には加わっていません。

議会機能の充実・開かれた議会の推進を目指して

市民の声を直接お聞きし、
決算審査に生かす

市民と語る会を開催しました

越前市議会では、議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会の実現を目指し、議会活動と政策立案に活かすことを目的として、「市民と議会との語る会」を定例的に開催しています。今年5月に常任委員会ごとに選定したテーマを基に、市民や関係団体と意見交換を行いました。今後いただいたご意見を含めてテーマに関する調査研究を行い、決算審査の充実につなげていきます。



産業建設委員会テーマ
「観光資源の開発」



教育厚生委員会テーマ
「地域ぐるみ福祉の推進」
「健康づくりの推進」



総務委員会テーマ
「公共交通の整備」

議会運営に関する意見交換を行う

議会モニター制度が始まる

越前市議会では、市民ニーズを反映した議会運営を目指して議会モニター制度を導入し、6月3日、市内の男女8人(団体推薦5人、一般公募3人)に委嘱状を交付しました。この制度は、市民の多様なご意見を直接議会に伝えていただくため、議員との意見交換会等を行っていただくほか、議会を傍聴していただき、議会への理解を深めていただくというものです。

6月30日に行われた意見交換会では、一般質問の持ち時間の使い方や重複している質問内容の調整について、また、傍聴席から議員の席が見にくい点について改善を求める意見など、本会議や委員会を実際に傍聴して感じた意見が多く出されました。いただいた意見は議会運営委員会と協議してまいります。

議会モニター

- 飯塚八重子(公募委員)
- 石井由紀世(公募委員)
- 井上 郁子(公募委員)
- 西藤 浩一(武生商工会議所推薦)
- 玉川 忠春(連合福井)
- 福島 宏(越前市自治連合会推薦)
- 藤谷 家也(越前市)
- 松永 恵美(越前市女性会推薦)
- (五十音順・敬称略)



活発な意見交換を行う議会モニター

先輩議員に質問・質疑のあり方を学ぶ

議員研修会を開催しました

7月14日に、元武生市議会議員 伊藤藤夫氏を講師に迎え、「質問・質疑のあり方」と題して議員研修会を開催しました。

研修では、質問と質疑の違いなど基本的なことから、市民から直接選挙によって選ばれた公職として自らの職責を果たす重要性について講義を受けました。さらに、議会としてその役割を十分に果たしていくためには、個々の活動はもとより「チーム議会」という意識を持つて行動することの大切さを学びました。



5期20年の議員経験を基に講義する
伊藤藤夫氏



経験に裏打ちされた深い知識に
熱心に耳を傾ける

問合先

市議会事務局

TEL(22)3426

議会だよりの編集は今号から議会運営委員会所管となりました。